

会 議 録

会議の名称	第3回 東由利地域協議会
開催日時	平成22年12月20日（月）午後1時30分
開催場所	東由利総合支所2階 第3・4・5会議室
出席者氏名	「出席者名簿」のとおり
欠席者氏名	伊東文雄、小松佳和、大日向与志子、佐々木雅廣、千葉寛
【会議次第】 1. 開 会 2. 会長挨拶 3. 総合支所長挨拶 4. 案 件 平成23年度地域づくり推進事業について 5. そ の 他 6. 閉 会	
会議の経過	別紙のとおり

◆出席者名簿

(地域協議会委員 15名)

役職名	氏 名	備 考
会 長	長谷山 博 昭	
	渡 辺 幹 夫	
	小 松 彪	
	鈴 木 博	
	畠 山 与 一	
	小 松 正 武	
	小 松 由 子	
	阿 部 タツ子	
	石 綿 喜代隆	
	高 橋 京 子	
	遠 藤 忠 平	
	小 松 耕之助	
	長谷山 光	
	佐 野 陽 子	
	畑 山 敏 男	

総 合 支 所 長	工 藤 良	
主幹兼振興課長	佐 藤 順 一	
市民福祉課長	嶽 石 文 弥	
主幹兼産業課長	小 番 直 義	
産 業 課 参 事 兼 課 長 補 佐	小 野 長 清	
建 設 課 長	柴 田 和 尋	
主幹兼東光苑施設長	佐々木 喜 隆	
教育学習課長	高 橋 裕 子	
事 務 局	小 野 信 子 小助川 洋	

会議の経過

第3回 東由利地域協議会

と き 平成22年12月20日（月）

午後1時30分～3時30分

ところ 東由利総合支所第3・4・5会議室

1. 開会（午後1時30分）

2. 会長挨拶

本日は20名中15名の出席をいただいた。

今年は雪が少なく、除雪作業の苦勞をせずに済むと思っているが、一方で、水源等、この後、雪が降らないと困ることもあるのではないかとと思う。

さて、平成22年度の定住自立圏共生ビジョンについて、一昨年の座談会で説明があり、平成22年度から実施をしたところだが、当地にも関係する事業もある。

市政の目玉である地域づくり推進事業は平成22年度がスタートしたわけであるが、ほとんどの事業が終了している。地域の方々から、元氣をもらったという声もたくさんある。実施団体の皆さん方の力によるところも多く、次年度以降の事業の支えになると良い。23年度の地域づくり推進事業公募事業をまとめたものについて、事務局より説明がある。

なお、前回もお話ししたが、後ほど、皆様方からのご意見やご要望をフリートークの場を設けたい。

その他、私からも8地域協議会会長・副会長会議の内容を報告したい。由利本荘市地域公共交通活性化再生協議会や由利本荘市文化複合施設管理運営検討懇談会の2点についても、報告させていただきたい。

3. 総合支所長挨拶

まずは、このたびの不祥事についてお詫び申し上げる。また、その後にも国民健康保険について国からの交付金を7000万円多く受け取っていたこと、下水道の徴収漏れ、さらに中学校長の不祥事もあり、重ねてお詫び申し上げます。大変申し訳ありませんでした。

この不祥事については、38人が処分を受け、市長と副市長も処分を受けた。広い範囲の職員に処分がされた。今後は十分に気をつけて参りたい。

今年、7月に局地的な災害が起こったものの、全体としては災害は少なかった一年である。しかし、稲作は作況指数90くらいで不作であった。

米が不作だと秋田県全体、日本全体でも気分が暗くなってしまい、大変な一年だった。

今年度事業については、携帯電話の鉄塔の建設、東光苑の大規模改修、ぷれっその改修、道路改修等、順調に進んでいる。この春には小学校の統合が行われるが、スムーズに進んでいる。平成23年4月1日の東由利小学校の開校に向けて準備を進めている。

新年度予算については、まだここに示せるものではないが、すでに（本庁へ）提出済みである。また、国の補正予算も一次要求をしている。かなり大きい額であるが、新年度予算とも併せて、ご要望の多い二次補修等も進むものと思われる。

今日は、2年目の地域づくり推進事業が大きな案件である。2年目ということで、いろいろな問題点もあったために要綱を変えている。ぜひ、地域を巻き込んだ形での地域づくり推進事業としたい。

4. 案件

平成23年度地域づくり推進事業について

議長	皆様方の活発なご意見をお聞きしたい。
佐藤振興課長	（事前配布の『平成23年度「地域づくり推進事業」各地域事業応募状況一覧』を説明）
議長	（東由利以外の）他の地域の事業については、資料を持ち帰ってゆっくりご覧頂きたい。我が地域の申請はここに掲載されているものである。内容について、色々あり、環境を保全するものなどもある。委員の皆様からご質問等をお願いしたい。
A委員	項目7と8の協議中とは。
佐藤振興課長	（7. 高瀬川流域桜による美化活動について）当初は宮ノ前自治会での実施を考えていたが自治体で実施ができないため、受け皿となる団体と実施についてまとめ、協議中である。
B委員	宮ノ前側の河川敷か。
佐藤振興課長	その通りである。トンネルを（島側に）出てから堤防をずっ

	と植樹した場合、すごいものになるのではないかという思いである。また、すでに一部植樹もされており、実施する人もいるということからの提案となっている。
A 委員	(植樹場所について) 河川敷一帯をさしているということか。
佐藤振興課長	そういうことである。
A 委員	8 (八塩七夕まつり) は。
佐藤振興課長	七夕まつりを八塩小学校で今までやってきている。しかし、八塩小学校が廃校となるにあたり、PTA会長より続けたいという気持ちを伺っている。
C 委員	(7. 高瀬川流域桜による美化活動について) 宮ノ前の河川敷の協議中について、宮ノ前地区ができなくなった場合はどうするのか。
佐藤振興課長	桜満開まちづくり計画では、大琴から五海保の国道107号線沿い、および五海保から大吹川の県道仁賀保矢島館合線、市道袖山線とを結ぶ周遊ルートで植樹する計画となっている。宮ノ前地区以外でも適地についてすでに調査しており、植樹場所については変更することとなる。
議長	そのほかの質問等は。
D 委員	項目3の「東由利ふるさと保存事業」について、今年の夏近くに市の本庁(教育委員会文化課)でも文化財を調査している。地下ノ沢地区(番楽)も申し込んだが期限に間に合わなかった。実は獅子頭にひびが入っている状態であり、一旦業者に送付したが、結局予算が付かなくて戻してもらった経緯がある。これ(東由利ふるさと保存事業)は大変すばらしい事業だと思ったが、映像を残す以外で、(獅子頭の修繕なども)対象とできるものか。 なお、本庁の方の調査では、東由利の7団体がここに集まって説明を受けた。来年度に要望するが、これについても対象となるのか。

工藤総合支所 長	東由利ふるさと保存事業については実施団体が決まっているので、(地域内) 全部の獅子舞などの修繕はできない。(本庁文化課の) 10万円の予算については定住自立圏構想のものである。いずれ、地域づくり推進事業でも、この団体は別として、芸能保存会などで使いたい、と要望があった場合は該当になる。この(東由利ふるさと保存) 事業では、そこまで(獅子頭等の修繕まで) 想定はしていないと思う。
D委員	23年度に(本庁文化課の事業に) 手を挙げている。しかし、10団体で100万円という総枠の上限もあり、越えた場合は次年度ということであるようだ。
工藤総合支所 長	地域づくり推進事業では、対象となるものである。例えば西目地域の番楽の例もあるが、今回の23年度分として提案したものには入っていない。
議長	全体的な予算もあり、検討していかないといけない。
E委員	「カラオケ交流大会」事業については、今まで黄桜まつりの予算内で実施していたが、この(地域づくり推進) 事業にきた理由は何か。
佐藤振興課長	カラオケ交流事業は毎年実施しているが、グレードアップしたいとのことで、そのグレードアップのための予算である。
議長	補足させていただきたい。 黄桜まつりでは土日にイベントを実施している。カラオケ交流大会は日曜日の午前に実施しており、午後から歌謡ショーを実施している。この歌謡ショーがあるために、(午前中のイベントについて) 時間的な制約がある。カラオケ交流大会をグレードアップしたくても、午後のイベントのこともあり、できなかった。カラオケ交流会出場の団体の代表者からは、土曜日に実施日を移行して十分に時間をとって、さらに幅広くボリューム・アップもできるのではないかという意見があった。さらにグレードアップを図るということで、要望した経緯がある。

E 委員	日程も変更となるのか。
議長	その可能性はある。現在の開催日程では、日曜日にイベントが集中するため、駐車場の（混雑の）問題もある。
C 委員	再度説明をお願いしたい。
佐藤振興課長	現在は、プロを呼ぶ歌謡ショーの前にカラオケ交流大会をやっている。今後は実施日を改める可能性があるということである。
C 委員	今までの実施でかかっている費用はいくらか。また、このカラオケ交流大会について、グレードアップするということだが、4 番の「ひがしゆり夏まつり」と連携できないのか。市税を使って費用対効果も含めて理解が得られるのか。 なお、関連して、東由利 3 大会、運動会等が縮小している。例えば、ゲートボールを市の主催ではなく、団体に主催を移行して、幅広い参加者募集もできるのではないか。そして、4 番の「ひがしゆり夏まつり」とセットで開催できれば、相乗効果もあるのではないか。「カラオケ交流大会」の単独開催については再考願いたい。
F 委員	この「カラオケ交流大会」のグレードアップは、黄桜まつりをさらに盛り上げていこうと目玉イベントにしようというものである。現在は、土曜日に大きなイベントが少なく、来場者が少ない。黄桜まつり全体でイベントの日程を譲り合うことでより多くの人に来てもらうというもので、良い案だと思う。
G 委員	「カラオケ交流大会」では参加団体から参加費を 2 0 0 0 円徴収していて、観光協会からの補助はほぼなく、音響設備にお金をかけている。また、プロの歌謡ショー前ということもあって、その音響も活用することで音響が良いものになっていた。 （この地域づくり推進事業により）従来、県南や県中央地区から 2 ～ 3 0 団体程度参加があるが、土曜日に移行することで時間もとれるので他の地区からも誘客を図り、交流人口を増加させたい。 なお、「ひがしゆり夏まつり」と連携との意見について、カ

	ラオケ交流大会で３時間程度かかるため、今のところは難しいと思う。
工藤総合支所長	スポーツ関係の質問については、次第の５．その他 の項目で回答したい。
議長	なお、地域づくり推進事業は、去年は地域協議会で取り上げて（今年度）実施したが、今回からは公募制と変更になっている。
E 委員	６．「旧横荘線跡地等周辺清掃活動」について、内訳を知りたい。東由利全域ではないのか。
佐藤振興課長	横荘線を歩く会（横荘線メモリーウォーキング）なども実施されている場所であることはご承知のことと思うが、祝沢川はかつて全国で第３位の清流になったこともあるほどの河川でもある。また、笹倉トンネル内から大変良い湧き水があるが、簡易的な設備で汲めるような状態である。こういう良い水を、残していきたいという発想から、横荘線跡地の道路も併せて後生に残すべきであるという（主旨の）事業である。
E 委員	こういう事業を立ち上げると補助があるというのは大変すばらしいことで、我々も今後取り組んでいきたい。 なお、宿地区のこいのぼりがあるが、橋の欄干からワイヤーを伸ばしてこいのぼりを設置しているが、対岸に引っ張られるような感じで非常に怖い状況である。できれば鉄柱の基礎部分の強化を検討して欲しい。
佐藤振興課長	地域づくり推進事業はハードウェア事業を対象とすることはできない。そのことについては、違う補助金の有無を確認し、申請していただくこととなる。
H 委員	補助金の根拠について、その整合性を明確にしないといけない。
佐藤振興課長	要綱があり、対象事業が決まっている。 １、イベント・文化・交流事業。

	2、研修・生涯学習・人材育成事業。 3、環境整備・美化事業。 4、観光に関する事業。 5、健康福祉事業。 6、ほか、地域づくりに貢献すると認められる事業。
H委員	（事業によっては）補助金を使っても良いのかと納税者から揶揄されるのではないかと、心配している。
工藤総合支所長	地域協議会が了承しないと、市としても決定することはしない。地域協議会で十分協議をしていただく。金額などについても検証していただく必要がある。地域協議会が、いわば一つの審査機関となるので、協議をしていただきたい。 また、場合によっては申請者からの聞き取りも必要となるだろう。そして、（地域協議会の検討結果により）再度検討を促すなどをすることもあり得る。
議長	貴重な税金を使うので、なんでもできるというわけではない。いずれ、地域を元気にしたいという人達から手を挙げていただいている。
B委員	「東由利グリーン・ツーリズム研究会事業」について、今年婚活イベントを開催しようとして取りやめになっている。秋田県でも婚活に力を入れているが、成功例がない。一方で、茨城県では成功例がある。この成功例は、職業の斡旋、住まいや子供に対する支援をしてようやく成功した。中途半端ではなく、きちっとしたものをやらないと婚活にはならない。
工藤総合支所長	そのイベントについては、今年度の地域づくり推進事業のグリーンツーリズム事業の中でやれないかということで検討したが、県でも婚活に関する事業をやっているので、地域づくり推進事業から外した経緯がある。しかし、参加者がなかなか集まらなかった。『婚活』という名前がつくと、特に地元の人達にとっては（イベントに対する印象が）大ごとだと捉えられてしまう。実際の応募も秋田市やにかほ市の人だった。県でもさらに婚活支援に力を入れるようなので、この（地域づくり推進）事業からは外さざるを得ない。

B委員	(今年度実施した地域づくり推進事業のグリーンツーリズム事業の) 空き屋体験についても、「なぜ無料なのか」という声が住民からあった。また、実際の体験者からも「無料」のことについては指摘されている。
工藤総合支所長	グリーンツーリズム事業は、スタートしたばかりである。今後、総会などをやっていただき(総括をするよう)伝えておきたい。また、有名にもなってきたので、単発ではない(継続的な)イベントにしていく必要がある。
A委員	地域づくり推進事業の要綱を見ていたが、対象の幅が広がっているように感じる。300万円の枠内で何が出来るのか、また、掲載された8事業から漏れたり、申込が遅れた応募もあるのではないかなと思うが、その辺の事後処理はどうなっているのか。また、漏れた事業へのサポートはどうなっているのか。
佐藤振興課長	応募期限の9月31日までの応募が少なく、漏れたものはない。今後、応募が多くなり、順位を付けなくてはならないようになった場合は、この地域協議会で協議をしていただく必要がある。
A委員	地下ノ沢の獅子頭については別枠の予算があるようだが、それ以外で(伝統芸能の備品について)申し込みたいところはあると思う。今回の地域づくり推進事業では申込が少なかったようだが。
議長	この場でいただいた意見については、参考にさせていただく。

5. その他

議長	文化複合施設について、「カダーレ」と名称が決まったようだ。懇談会ではたくさんの意見が出ていて、利用者や全市民のための場となるような意見がたくさん出されていた。 公共交通については、活性化再生協議会が平成21年3月から継続しており、計画書も作成されている。教育施設の現状や
----	---

	課題、羽後交通バスの課題や、スクールバスが東由利地域に関係することである。羽後交通バスについては、東由利地域は比較的用户が多い。一方で、西目や鳥海では利用者が少なく市のバスに切り替わったところもある。特に西目では本荘・象潟線があるため、羽後交通の西目線が廃止となる。乗客が少なければ、やはり廃線が出てくる心配がある。また、法内地区のように従来から走っていない地区へのサービスはどうするのか、スクールバスの輸送体制などが議論となるのではないだろうか。
C 委員	東由利地域の人口について、この 10 月に実施された国勢調査や 2 月に実施された農林業センサスの結果や動向については教えてもらえないか。
小助川振興課主任	12 月 8 日に県に提出したばかりで、現段階ではお知らせできる情報はない。農林業センサスについては、テレビなどで報道はあるが、まだこちらには何も情報が来ていない。
C 委員	東由利地域の数字は出るのか。
佐藤振興課長	由利本荘市単位となる。
議長	数字等を出せるようになったら地域協議会にも示して欲しい。 地域づくり推進事業についてのご意見などがあればさらに出していただきたい。地域が活性化する意義がないといけない。協議会の意見をまとめたものを事務局にフィードバックしてもらう。
佐藤振興課長	スポーツ祭等について、説明したい。
工藤総合支所長	東由利では、運動会、ゲートボール、ペタンクの 3 大会を実施している。運動会は市、ゲートボールとペタンクはそれぞれの協会に市で補助して主催している。 運動会については、23 地区から参加をいただいている行事で、市内の他の地域でも同様に開催している。ゲートボールやペタンクについては、より参加者の範囲が狭くなるため、市長

名で案内を出すような形からの変更もできるのではないか。

なお、５０年近くも実施してきたイベントでもあるため、市として判断が難しいところもある。地域づくり推進事業を使ってグレードアップしたくても、市の直営事業はできないことになっている。運動会については、実行委員会方式への移行も可能かと思う。それぞれの行事について、見直しの時期にもあるのだと思う。しかし、大自治会や分館で話し合って頂いた上でないと、各協会への移管は難しいのではないか。また、この地域協議会も、せっかくの（委員から意見を聞く）場なので、皆さんの意見を聞いて、再来年以降の見直しも検討して参りたい。また、検討にあたっては体育協会とも協議をしないといけない。

I 委員

資料では合計９３事業、総額２０００万円くらいの予算となっているが、新規事業については岩城と鳥海が多いようだ。なお、要綱については、一般住民に周知する方法を検討して欲しい。

工藤総合支所
長

周知については、東由利地域では行政協力員会議や支所だよりでお知らせした。本荘地域では、地区（石沢、子吉、など）ごとに話し合って案を提出させている。東由利でも分館や大自治会ごとで話し合って、出していただければ良いものになるかもしれない。

なお、各種団体の長になっているような方々であれば、いろいろな会合などで分かっている方が多い。各地区（大自治会など）で話し合ってもらって欲しいという形で周知すれば、もっと応募が増えるのかもしれない。

I 委員

鳥海地域では新規が４つも出ている。内容について、元気になりそうなものもある。

議長

平成２２年度の事業としては９２事業あった。それらはだいたい４つか５つくらいに分類することが出来る。

地域性に応じたもの。

環境美化。

人的交流。

そして人材育成なども出ていた。

東由利は１事業あたりの事業費が大きい。これを地域に（１

事業あたりの予算を少なくして、事業数を) 広めれば、もっと良い案も出てくるかもしれない。特定の団体の資金になるというので良いものではない。

F 委員

東由利では、パークゴルフなどで集客しているが、しかしお客に（商品として）提供するものが少ない。この地域で採れるものなどを提供できるように、活用方法を考えていかないといけない。

議長

委員の皆さんも地域の代表なので、（地域で）お話しして欲しい。来年は、事務局でも困るくらいたくさん出して欲しい。

F 委員

ゲートボールは全国的に下火になってきており、パークゴルフやグランドゴルフが伸びている。今、盛んに行われているものだけでも伸ばしていけばいいのではないかな。

なお、県内で認定されているパークゴルフ場が北欧の杜公園だが、認定されても立地が良くなくては集客は難しい。今年は特に、猛暑のために芝の調子が悪い。今年はたまたま、東由利のコンディションが良かったので、集客につながった。維持管理も重要で、パークゴルフ協会も芝の手入れや花壇の整備もやった。福島県の相馬でも芝生に対して多額の経費をかけて維持をしている。

議長

（維持管理ボランティアについて）それこそ地域づくりではないかな。

A 委員

（地域づくり推進事業が）ソフト事業とのことだが、今の人口減が事実で、大都市でもそれが不安要素となっている。いわゆる長寿国であることの反面、独居高齢者、老々世帯なども多く、それらに対する市の具体的な取り組み状況はどうなのか。

特に、東由利としては、デイサービスとして会を作って、高齢者のつどいを月曜に集まっており、イベントや企画をやっている。新町、老方のみならず、他地区も含めた方向性を示して欲しい。なお、参加した高齢者からも「楽しみだ」「気が晴れる」と好評である。

嶽石市民福祉課長	今年からミニデイサービスを法内、蔵、新町の3地区で実施している。これらはボランティアの協力により実施している。3地区では11月末で610人利用しており、1日あたり12～13人の利用が毎回あるようであり、来年度以降も継続していきたい。 内容については、（ボランティアが）色々難儀をされているようであるが、長続きするようにやっていただきたい。 それと併せて、高齢者の方々の状況の実態調査を実施している。その結果により、今後の対策を考えていきたい。なお、2～3年くらい前にはひとり暮らしの高齢者の調査を実施したこともあるので、それともあわせて考えていきたい。
A委員	ミニデイサービスを拡大していく流れもあろうが、ボランティアなどが自費で犠牲的に運営していくことのないよう、市の側でサポートをして欲しい。
議長	皆さんから、要望やご意見を何でも出して欲しい。
J委員	公共施設に設置されているテレビについて、平成23年7月で買い換えないといけないのだと思うが、その点についてはどうか。
佐藤振興課長	そのことについては、以前から予算要求をしている。地上デジタル放送対応化について、テレビが映らないという状況にはしない。チューナーなどで対応する見込みである。
J委員	大蔵館では、そもそも（故障して）映らないテレビもある。利用者の要望により、分館の担当者が苦勞してつないだりしている。もっと使いやすい機械を導入して欲しい。
K委員	老方館も同様である。
佐藤振興課長	早急に現状を把握したい。
工藤総合支所長	ケーブルテレビについては、平成27年までアナログを続けることとなったので、その間に順次更新をしていきたい。

L 委員	携帯電話について、板戸地区ではドコモは入るが、a uが入らない。うまく良い方向にはもっていけないか。
工藤総合支所長	市で建設する基地局は、いずれかの携帯電話事業者が通じていると実施できない。そのような（1 事業者が入っていて他方が入らないような）場合は事業者に直接要望しないといけない。
G 委員	平成 22 年度にかなり基地局を建設したが、台数はいくらか。
佐藤振興課長	10 基である。今後は、須郷、袖山、黒沢などへの建設も考えている。
F 委員	今まで電波がまったく入らなかった、石高・大吹川間も圏内となった。
工藤総合支所長	携帯電話事業者でも建設している。
E 委員	地域づくり推進事業について、事業費合計だけではなく、内容を示して欲しい。
佐藤振興課長	次回以降、示したい。
E 委員	「高瀬川流域桜による美化活動」についてなど、どうせならば東由利全体でやって欲しい。
議長	事業内容について中身が見えないということだが、本当は時間があれば示せた。事業内容はオープンにしていけないといけない。なお、全部ではないが、私も目を通しており、要望書については関連する費用についての見積書も出ている。
A 委員	我々、「協議」会なので、時間も権限も制限があるので、事務方で把握してもらって、事務方からの答弁で回答があればいいのではないか。
工藤総合支所長	補助事業については、市の監査が入る。監査としては、事業の目的に適合していれば良いと判断する。中身の再検討は必要

	ではないかと思う。
議長	委員から質問があれば、中身についてはオープンにしていく。
F 委員	各団体の実際に事業をやる人達でしっかり協議して進めてい かないといけない
B 委員	長く続けられるものは、ずっと続けられるようにしていって 欲しい。
M 委員	地域づくり推進事業の「東由利グリーンツーリズム事業」に ついて、農林業オーナー募集とあるが、台山のりんご園が荒れ ているので、その良いオーナー制度にはならないものか。 また、ボツメキ湧水の活用とあるが、このことについてはい かがか。 文化複合施設について、東由利地域からは有名な人をたくさ ん輩出しているので、顕彰する意味でも、そういう方々の作品 などを展示する設備がないものか。コンクールはあるのに展示 できないということをないようにしてもらいたい。
工藤総合支所 長	りんご園については、良い案がなかなか出てこない。オーナ ー制度にしても難しい面がある。なお、地域づくり推進事業に ついては、市が直接関与することができない。 ボツメキについては、保健所と協議して、販売はできないが 一定の会員、例えば東京東由利会の方々などへの配布はでき るとの話だった。
高橋教育学習 課長	高橋宏幸賞については、第18回までの分は市のホームペー ジに美術館を設けている。なお、今年の第19回については、 文化会館の地下で1月13日から19日まで展示する予定であ る。
F 委員	文化複合施設について、1100人収容の施設とのことだが、 (資料では) 駐車台数の数字が示されていないが。
工藤総合支所 長	多くは駐車できない。

C委員	160台くらいか。台数を増やすよう市の当局には要望しており、今後継続審議していくものと思われる。
E委員	東由利スポーツ祭について、実施そのものは良いが、自治会対抗をどう扱っていくかが、今後の課題である。各自治会の体育係や総合支所、協会などで一生懸命に実施しているが、やり終えたときの感動が素晴らしい。しかし、自治会という枠組みのため、違和感もあるのではないか。 ゲートボールやペタンクは、自治会対抗ではなく、幅広く自主参加に切り替えれば良いのではないか。年々、参加チームが減っており、少子高齢化が原因と思われる。見直しを提案したい。
J委員	ペタンクは自治会対抗でないと、参加者を集めにくいと思う。
H委員	一度、座談会などで自治会に投げかけて、相談してもらえれば意見も出るのではないか。
佐藤振興課長	新春座談会などの場でも聞いてみたい。
議長	長時間に渡り、議論いただいてまことにありがとうございます。

6. 閉会（午後3時45分）